

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 高周波熱錬株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 141-8639 東京都品川区東五反田2丁目17番1号オーパルコート大崎マークエスト
----	--------------------------	----	------------------------------------------------------------------------

本票作成 部署名：岡山工場 保全課

主たる業種	分類コード	24	業種名：金属製品製造業
-------	-------	----	-------------

事業の概要 高周波熱処理をしたPC鋼棒等の製造販売、機械部品等高周波焼入れの受託加工・製造販売、各種周波数の電源を使用する誘導加熱装置及び高周波焼入設備の製造販売

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	岡山県総社市久代1408-22

特定事業者の該当要件 ①燃料等原油換算1,500kl以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
(●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 30 年度)	(令和 2) 年度排出量	目標年度 (令和 3 年度)
	11,560 t CO ₂	7,782 t CO ₂	11,213 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 2) 年度排出量
	①	岡山工場	7,782 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 1 年度	～	令和 3 年度	(3 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(2) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	12.8 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原単位指標 (生産重量)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2) 年度	目標年度
		0.273 t CO ₂ /(t)	0.238 t CO ₂ /(t)	0.265 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 2 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・温室効果ガス排出量は受注動向、品種により大きく影響した。
・コロナ禍の影響もあったが温室効果ガス排出量削減の取り組みは計画通り実施できた。

【推進体制】

月一回、原価委員会にて各設備、動力別原単位を確認し、エネルギーの使用状態に問題がないか確認を行う。都度ISO14001環境マネジメントシステム順守状況の確認、各課環境省エネ活動の進捗確認とフォロー、省エネルギー法に基づくエネルギー使用の合理化に関する管理標準の順守状況を確認、フォローを行う。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(20年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none">・電源装置サイリスタ式からトランジスタ式に変更しエネルギー効率改善・自動機サイクルタイム改善活動による週末部分稼働日数減少・故障低減活動による稼働時間ロス低減・配管断熱化による冷却能向上・エア漏れ低減活動によるコンプレッサ負荷軽減 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none">・熱交換器オーバーホールによる冷却効率復元・エア配管系統一部ループ化によるコンプレッサ負荷軽減・入出荷ルート変更による効率化改善・エア漏れ低減活動継続

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--